

令和4年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

日 時	令和4年5月26日（木） 9時30分～11時00分
場 所	南国市役所 5階 第2～5委員会室
出席者	南国市長 平山 耕三 南国市教育委員会 教育長 竹内 信人 教育委員 野中 美宏 教育委員 上岡 哲朗 教育委員 浜田 雅士 教育委員 大井田 典子

1 開会

開会の挨拶（平山市長）

2 議事

〔議事1〕 令和3年度南国市教育委員会の事務事業自己点検・評価について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【大井田教育委員】

- 不登校プラスワン未然防止等事業について、「不登校」という言葉が日常的に使われていることに危機感を抱いている。文部科学省では1年間に30日以上欠席の児童生徒を不登校としているが、その定義を知らずに簡単に使われている。子どもは「不登校」という言葉によって自己イメージを固めてしまうこともあり、そのイメージは払拭しにくい。「言霊」となってしまう。意識して言葉を丁寧に使っていきたい。
- 「不登校」の要因は、本当に「スマホやネット環境、ゲーム」なのか疑問である。スマホやゲームを使うのは「人」であり、学校にいけない要因を作っているのも「人」ではないか。

⇒【平山市長】

- 「不登校」という言葉は、個人によって認識が異なり、「不登校」の状態も子どもによって異なる。まずは「不登校」について理解していただくための啓発が必要であると感じた。
- 不登校対応について、ICTを活用して学校と家庭を結んでいるという表現があるが、どのように結んでいるのか。

⇒【竹内教育長】

- 学力保障の対応、授業の配信などに活用している。オンラインで人と人を結ぶということではない。
- 不登校の要因は、複雑に絡み合っており、解決に向けて様々な方向性を持って取組を進めているが、なかなか数値上にその効果が表れていない。ただし、思いもよらないことで不登校が解決することもある。例えば、地域の見守り・わんわんパトロール事業の犬に会いたくて学校に行けたり、働き方改革・業務改善が目的の月曜日5時間授業実施によって欠席者が減ったりしている。

令和4年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

そういった事例から、今やっている不登校対策が、芯をついているのか、子どもの立場に立った施策ができているのか、振り返る必要があると感じている。

⇒【平山市長】

- 不登校の要因が一人一人違うことから、子どもがどこに魅力を感じるのか、何に興味を持つのか、様々な対策とともに「魅力ある学校づくり」の再検討が大切であると感じた。

【浜田教育委員】

- 実践的防災教育推進指定事業の県指定校である十市小学校に伺い、高い防災意識を持っていると感じた。一方で、過去に指定校であった学校の意識の維持が難しいと感じている。啓発事業を継続実施する必要がある。
- わんわんパトロール事業について、犬の散歩をしている方を日常的に多く見かける。私自身も登録できていないが、この事業をもっと周知する必要があるのではないかと。口コミも大切である。
- 少年育成センターの補導委員の高齢化について、私も27年目の補導委員をしているが、若い方は学校関係者に限られるほど少ない。若い方に興味を持ってもらうためには何ができるのか考えている。

⇒【平山市長】

- 東日本大震災から時間が経過し、災害の備え、危機意識を維持できるよう継続的な活動が必要である。姉妹都市・岩沼市との交流も効果を上げており、継続していきたい。
- 浜田教育委員には、わんわんパトロールにぜひとも登録していただきたい。登録をハードル高く捉えている方もいらっしゃるかもしれない。この事業の説明を丁寧に行えば登録数増加が見込めるかもしれない。
- 補導委員の高齢化については、もちろん若い方に参加していただきたいが、仕事で忙しいなど難しい部分がある。広報活動だけでは集まりにくいので、日々の声掛け、勧誘が効果的であると考えている。

〔議事2〕 令和4年度の取組について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

※意見なし

〔議事3〕 G I G Aスクールの進捗状況について

【教育委員会事務局】

（資料説明）

【上岡教育委員】

- I C T・一人一台端末の活用がなじみにくい教員がいる中で、先生方が「正しく使うにはどうしたらいいのか」最初から考えすぎて、時間を要してしまうのではないかと。また、現状の業務に加えてI C Tが入ってきた感覚もあると思う。デジタルデータは、一度作成すれば、次回から必ず時間短縮になることを周知していただきたい。

令和4年度第1回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

- 学校は、基本的に年功序列の社会だが、ICT関連は、若いの方が使いこなせるため、立場が逆転してしまうのも、なじめない教員がいる一つの要因であるとする。
- 一人一台端末の活用方法は、まだ答えがない、答えがなくていいんだと先生方に伝えたい。

⇒【平山市長】

- 先生方が一人一台端末の導入という急激な環境の変化に対応していくことは困難なことであると思うが、ICT活用が定着するよう取組を進めていただきたい。

〔議事4〕南国市いじめ・いじめ疑い含む報告及びいじめ重大事態の報告について

※非公開

〔議事5〕その他

【事務局（企画課）】次回日程説明

【野中教育委員】

- 昨日は、大湊小学校の学校訪問だった。児童数が本当に少なく、複式でも大変な小規模であった。
- 香南中学校は、生徒数の減少から、団体競技の運動部活動ができなくなっている。運動部活動配置活用事業の取組にある「生徒の自主性や協調性、責任感を育む…」ためには、個人競技よりも団体競技の効果が大きい。香南中学校で運動部活動ができないために、中学校は私立に進学するケースも多く、日章小学校では約30%が私立中学校に進学している。特認校制度による生徒数増加が思わしくないのも、運動部活動の影響が少なからずあると考える。
- 香南中学校の通学路であるベナレス北の農道に信号がなく、朝は農業高校の生徒も多いために、大変危険な状態である。信号があれば子どもたちも安全に通行できる。農業高校と一緒に信号設置の要望ができないか。少しでも香南中学校の環境を改善したい。
- コロナによる就学旅行の延期について、キャンセル料の補助金をご負担いただきありがたい。

⇒【平山市長】

- ご意見として承った。

⇒【竹内教育長】

- 香南中学校の通学路については、通学路の点検で挙げられている箇所である。定例教育委員会にて経過を報告する。

3 閉会

以上